

2024年5月12日

「生ける水の川」

ヨハネによる福音書 7:32-39

早川 真牧師

私たちは生きて行くのに水を欠かすことができません。人間だけではなく、植物や動物にとっても、水は必要不可欠な存在です。川は地を潤し、植物や動物を養います。そしてそこには、豊かな実りが生まれます。イエスは、まるでその川のように、言葉と行いによって人々を養われました。

祭りが最も盛大に祝われる最後の日にイエスは立ち上がって大声で「渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。」と言われました。この、イエスの言われた渴いている人とは、肉体の渴きのことではなく、もっと深い部分の渴きのことを意味しています。それは、私たちの霊における渴きです。コップの水であれば水道の蛇口をひねるとその渴きを満たすことができますが、私たちの心の最も深い部分である霊の渴きは水道では満たすことができません。その水は、神殿、つまり神のおられるところから流れてきます。

コリントの信徒への手紙一 3:16 には次のようにあります。「あなたがたは、自分が神の神殿であり、神の霊が自分たちの内に住んでいることを知らないのですか。」ここで言われている神の霊とは、聖霊のことです。聖霊は、イエス・キリストを信じる者が受ける霊です。聖霊は、イエス・キリストを信じる者の内に住み、あらゆる良い実を結ぶということが聖書に書かれています。誰でも渴く者に、生ける水の川を与えてくださるイエス・キリストは、私たち一人一人の内からもこの生ける水の川を流し出してくださることを信じます。私たちの内に住んでくださるこの聖霊が、私たちを潤し、神と人に喜ばれる豊かな実りを結ばせることを願いつつ、共に祈りを合わせたいと思います。